

(様式4)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	1 6	学校名	宇都宮市立 晃陽中 学校
-----	-----------------	------	-----	-----	--------------

## 令和5年度 健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

### 1 健康（体力・保健・食育・安全）に関する主な実態

#### (1) 定期健康診断・元気っ子健康体力チェックから

##### 【定期健康診断結果】

- ・視力検査の結果、視力が1.0未満の生徒は全体で62.4％であり、6割以上の生徒が視力1.0未満である。年々増えてきており、昨年よりも4％増えた。今後もさらなる視力低下が心配される。
- ・歯科検診の結果、う歯のある生徒は非常に少なく、全体で9.9％である。しかし歯垢がついている生徒は全体で36.8％、歯肉炎になっている・なりかけている生徒は全体で14.7％であり、歯みがきがよくできていない生徒は増加してきている。

##### 【元気っ子健康体力チェック結果】

- ・全体的に体力はやや低い傾向。運動する生徒と、しない・不得意な生徒の差が激しい。
- ・長座体前屈（柔軟性）は、今年度も全国平均より大きく下回っている。
- ・例年、平均より低かったボール投げが、今年度は昨年に比べて改善された。

#### (2) 元気っ子健康体力チェックのアンケート及び国・県・市の児童生徒質問紙・学校質問紙などから（※体力・保健・食育・安全について、それぞれ記入する。）

##### 【体力】

- ・運動をすることが好きな生徒は全体として非常に多く、肯定的な回答の割合は79％程度（昨年度81％）である。休み時間や放課後、休日に自ら運動をしている生徒は60％であり、実際に昼休みに外遊びをする生徒は一定数いる。

##### 【保健】

- ・早寝早起きを心がけている生徒は6割程度で、市より低い。爪が長いまま、前髪が長いままなど、基本的生活習慣が身についていない生徒が目立つ。
- ・歯みがきの習慣はあるが、みがき方に問題がある。

##### 【食育】

- ・栄養バランスに関する興味関心は高いが、食べものの好き嫌いをしてしまう生徒が2割程度いる。

##### 【安全】

- ・学区内は、国道119号線・293号線が通っており、交通量が多い。また、その他は農道等が多く、人の目に触れにくい。生徒の安全意識の向上と行動力育成のため、時期に応じた全体指導や外部機関と連携した交通安全教室を開催している。交通事故やケガについては、年々減少傾向にある。

#### (3) 授業や健康安全・体育的行事等への取組状況から

（※体力・保健・食育・安全について、それぞれ記入する。）

##### 【体力】

- ・授業の中で準備運動にランニングを取り入れ、また長距離走で目標を持たせ取り組ませたことで、持久走大会では、練習も含め懸命に走る姿が全体的に見られた。3年前から授業の準備運動に柔軟運動を取り入れて、柔軟性の向上に取り組んでいる。
- ・体育祭はコロナの影響もあり縮小での開催となったが、能力に関わらず、楽しんで参加する生徒は多く、思い出にも残ったという発言が多数聞かれた。また新たな取組として、ソーラン節を3年生が披露した。

#### 【保健】

- ・「晃陽っこ生活チェックシート」を実施し、基本的な生活習慣の実態把握を行った。その結果を保健だより等で知らせ、啓発を図った。

#### 【食育】

- ・給食委員会で「朝食強化週間」「食事マナー重点指導週間」を企画・実施し、生徒の手で食に対する意識高揚のための喚起をしている。

#### 【安全】

- ・登校指導は年4回の立哨指導を行い、さらに、事故や苦情等の問題発生時には、その地点においての重点的な指導を行った。生徒の交通安全やマナーへの意識は高く、苦情や大きな事故は少なかった。

### 2 今年度の重点目標

「自他ともに健康で安全な生活を送ろうとする実践力の育成」

### 3 今年度の取組（「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」に関する取組は文頭に★、「令和5年度指導の重点」に関する取組は文頭に□）

- ★□晃陽っこ生活チェックシートを活用し、生徒並びに家庭との連携を図り、基本的な生活習慣を身に付けさせる。
- 視力低下が進んでいるので、姿勢指導と絡めて、タブレットやICT機器との付き合い方などの指導を、引き続き取り組んでいく。
- ・生徒会の委員会を活用し、生徒自ら考え行動できるよう促す。
- 保体科授業での準備運動から含めた運動量確保に努め、体力の向上を目指しながら、ICTの活用も視野に入れて運動の喜びや楽しさ感動を味わわせ、生涯体育につなげる指導を工夫する。
- より良い食習慣を身に付けるために、「食事のマナーについての指導・朝食についての指導」「食に関する感謝の心を育てる(偏食)」について重点的に取り組む。
- ★望ましい食習慣を体得させるとともに、食を通して、望ましい人間関係をより良く構築し、心身ともに健全な生徒を育成する。(学校給食において、地域の食材・企業を活用した学校園オリジナル献立を実施する)
- ・登校指導については、一昨年度からの生徒の登下校の良好な状況も踏まえ、年間4回の定期登校指導と問題発生時の集中指導を行う。また年2回の交通安全教室を行い、危険予測と回避能力の向上を目指し、よりよい交通安全への意識向上を図る。